

 ゆ う き 友 絆	生徒と教師の合い言葉 ～気づき、考え、実行する～ 裏磐梯中学校だより 平成31年1月号 https://kitashiobara.fcs.ed.jp 発行者：校長 岡崎 秀一
--	--

2019年のスタートです



平成31年1月8日（火）、第3学期が始まりました。始業式では、当たり前のことか当たり前でできる人間になってほしいと話しました。「あいさつをきちんとする」「時間を守る」「自分の気持ちをことばできちんと伝える」など、努力して身に付けてほしいと話しました。そして、3年生は3月に学校行事で最も大切な「卒業証書授与式」を迎えるので、そのときに中学校3年間で成長した姿を、保護者や地域の方に見ていただくように、卒業式へ向けて日々努力を続けてほしいと話しました。1・2年生には、卒業生をしっかりと応援する心を式に臨む態度や歌声で示すように話しました。保護者・地域の皆様、卒業式当日の生徒たちの姿を楽しみにしててください。

また、3名の生徒による「新年の抱負」の発表がありました。「挑戦」という言葉を掲げた決意、あいさつと勉強を頑張ること、受験に向けて努力すること等を発表しました。自分の決めた目標に向かって努力を続けてほしいと願っています。



県中体連スキー大会

1月14日から3日間、県中体連スキー大会が行われ、本校2年生の鳥羽さんがアルペン競技女子スラロームで3位に入賞し、東北・全国大会への出場権を獲得しました。さらに練習をし、県大会以上の記録を出せるよう頑張してほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、応援をよろしくお願いします。

学校評価アンケートと改善

毎年、年2回学校評価アンケートを行っています。そのアンケートをもとに考察を行い、今後重点的に取り組むべき課題を出しています。それを次年度の教育活動に生かしています。今回は、「計画的・継続的に学ぶ習慣の育成と学力の向上」について公表します。

評価内容	生徒	保護者	教師
①わかる・できる授業の実施	4.2	3.8	4.4
②家庭学習の習慣化	4.2	3.9	4.4
③キャリア教育の充実	4.4	4.2	4.7

- ・4段階評価（5点～0点）
- ・目標値3.5以上

《今後重点的に取り組むべき課題》

- 「学びのスタンダード」やICT機器を活用しながら、「わかる・できる授業」を実践する。

家庭学習については、「家庭学習スタンダード」を活用しながら、「自己マネジメント力」が身につくように指導する。また、SUT（帰りの学活前に行う自主学習タイム）で、その日の授業を振り返り復習が必要な内容を確認させ、家庭学習へつなげていく支援をする。